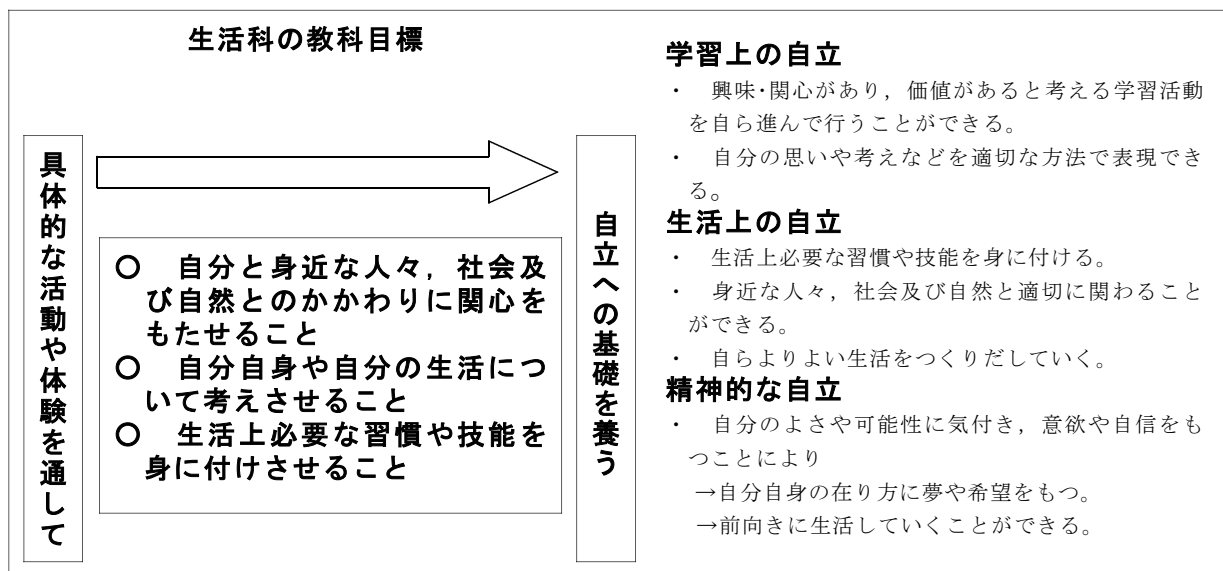


生活科

1 生活科でねらうもの

学習指導要領の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。



2 学習指導要領の特色

(1) 基本方針

- ① 具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、人や社会、自然とかかわる活動を充実し、自分自身についての理解などを深める。
- ② 気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる。
- ③ 児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育を充実することや自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感させる学習活動を充実する。また、小学校における教科学習への円滑な接続のための指導を一層充実するとともに、幼児教育との連携を図り、異年齢での教育活動を推進する。

(2) 具体的事項

① 気付きの明確化と気付きの質を高める学習活動の充実

自分の特徴や可能性に気付き、自らの成長についての認識を深めたり、気付きをもとに考えたりするなど、児童の気付きを質的に高めるよう改善を図る。その際、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動の充実に配慮する。

② 伝え合い交流する活動の充実

身の回りの人とかかわりや自分自身のことについて考えるために、活動や体験したことを振り返り、自分なりに整理したり、そこでの気付き等を他の人たちと伝え合ったりする学習活動を充実させる。その際、活動や体験したことを言葉や絵で表す表現活動を一層重視する。

③ 自然の不思議さや面白さを実感する指導の充実

中学年以降の理科の学習を視野に入れて、児童が自然の不思議さや面白さを実感するよう、遊びを工夫したり遊びに使うものを工夫して作ったりする学習活動を充実させる。例えば、動くおもちゃを工夫して作って遊ぶ活動、ものを水に溶かして遊ぶ活動、風を使って遊ぶ活動などを行うよう配慮する。

④ 安全教育や生命に関する教育の充実

通学路の様子を調べ、安全を守ってくれる人々に関心をもつなど、安全な登下校に関する指導の充実に配慮する。また、自然に直接接触れる体験や動物と植物の双方を自分たちで継続的に育てることを重視するなど、自然の素晴らしさや生命の尊さを実感する指導の充実に配慮する。

⑤ 幼児教育及び他教科との接続

幼児教育から小学校への円滑な接続を図る観点から、入学当初をはじめとして、生活科が中心的な役割を担いつつ、他教科等の内容を合わせて生活科を核とした単元を構成したり、他教科においても、生活科と関連する内容を取り扱ったりする合科的・関連的な指導の一層の充実を図る。また、児童が自らの成長を実感できるよう低学年の児童が幼児と一緒に学習活動を行うことなどに配慮するとともに、教師の相互交流を通じて、指導内容や指導方法について理解を深めることも重要である。

3 道徳との関連

生活科における道徳教育の指導においては、学習活動や学習態度への配慮、教師の態度や行動による感化とともに、以下に示すような生活科の目標と道徳教育との関連を明確に意識しながら、適切な指導を行う必要がある。

- 自分と身近な人々、社会及び自然と直接かかわる活動や体験の中の様々な場面を通して、自然に親しみ、生命を大切にするなど自然とのかかわりに関心をもたせること。
- 自分のよさや可能性に気付くなど自分自身について考えさせること。
- 生活上のきまり、言葉遣い、振る舞いなど生活上必要な習慣を身に付けさせ、自立への基礎を養うこと。

4 生活科における言語活動

内容(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」は、体験活動を言語活動に直接結び付けて取り組むべき内容である。この他、体験や活動を振り返り、気付いたことや工夫したことなどを絵や文で記述したり、感じたことについて「何が」「どのように」「どうなのか」等、具体的な表現を用いて伝え合ったりする。事象や体験についてより豊かな表現、より分かりやすい表現となるよう、諸感覚を通して見付けさせたり、比べる、例えるなどの視点を与えたりするようにする。さらに、学習にかかわってくれた地域の人や家族などに相手意識をもって招待状や手紙を書くことも、言語活動の一環として積極的に取り入れるようにする。その他に、以下についても留意する。

- 形式や表現技能よりも、思考と結びついた気付きの内容を重視するようにする。
- 言葉や絵、動作、劇化などの多様な方法を使ったり、手紙や電話、ファックス、ICTなどの多様な手段を活用したりするようにする。
- 身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合うようにし、言葉だけでなく様々な方法によって情報を伝え合うようにする。